

次号予告

- 特集 カウンセリング
 カウンセリングの流れと我が国の現状……………名古屋大学 田 畑 治
 医療におけるカウンセリングの実際
 (障害者のカウンセリング)……………大阪教育大学 上 野 薫
 医療におけるカウンセリングの実際
 (家族のカウンセリング)……………文京大学 岡 堂 哲 男
 すべての医療職は現代のカウンセリング
 から学べし……………龍谷大学 大 段 智 亮
 随想/私のカウンセリング経験
 須 崎 光 一・永 沢 嘉 子・山 田 州 宏
 宇 賀 勇 夫・澤 治 子・平 野 寛 子
- と び ら ピーターの法則……………九州リハビリ大学校 中 山 彰 一
 講 座 薬物療法の基礎知識 5. 精神障害 ……………北大医療技短 上 野 武 治
 第8回「理学療法と作業療法」賞・受賞論文
 <入賞>鹿教湯病院における理学療法学臨床教育
 (臨床教育システムおよびスケジュールの紹介と学生に
 ついての評価法の試み)……………リハセンター鹿教湯病院 金井 敏男・他
 <準入賞>理学療法学科学生の心理的諸問題
 ……………高知医療学院 宮本 省三・他
 プログレス 熱傷の治療における日本の現状(最近の進歩)…中京病院 井 沢 洋 平
 あんてな 重度障害者と OA (オフィスオートメーション)
 ……………東京コロニー・トーコロ情報処理センター 勝 又 和 夫

編集後記

今月号の特集は整形外科であるが、最近
 は出来るだけ非観血的にという考えに基づ
 いての治療も普及し始め、いわゆる患者の
 日常生活動作における問題点をとらえるリ
 ハビリテーション的思考が浸透しているよ
 うである。しかしややもすれば例数を競う
 事が原因で効果のない手術もまだまだ後を
 断っていない。

特集の中では側彎症に関する装具療法に
 関しては予後の推定が困難な場合もあり、
 患者家族との対話、限界の熟知などが重要
 で長期にわたるフォローアップが必要であ
 る事が強調されている。レノックスヒルの
 ディローテーションブレースは最近、世界
 的に流行し始めている装具の1つである。
 従来の装具と比べてこの膝装具は、装着し
 たまま各種のスポーツに参加出来るのが
 利点であり、最近のようにスポーツ損傷が
 多い時代には利用価値も大きいであろう。
 よくみられるスポーツ損傷では、損傷の起
 こりやすい条件、更にスポーツ障害の予防
 について触れて下さり、トレーニングと練

習とを混同しないよういましめられてい
 る。下肢の免荷装具では負荷と免荷に関連
 する要素が手際よくまとめられていて参考
 になるところ大である。

講座は「痛みの生理学」の「痛みに対す
 る物理療法の機序(Ⅱ)」で、近年最も注目
 された門制御説が含まれている。

小児に関する薬物療法に関しては、専門
 施設に勤務している方々のみならず、服薬
 している小児に接する場合のある方すべて
 に必要な知識である。

今回は御多忙の先生方に御執筆をお願い
 したにもかかわらず、快く期日までに原稿
 を御寄せ下さり充分なる感謝の言葉もない
 次第である。

この雑誌の編集室に読者の方々からの反
 響を御寄せ戴き今後の内容改善の参考にさ
 せて戴きたいと願っている。全国各地で多
 方面に PT, OT の職域が広がっているが
 常にレベルアップの努力をされ社会の信頼
 にたる職種としての発展をされるよう心か
 らお祈りする次第である。(荻島 秀男)

<編集顧問>

天 児 民 和
 九州労災病院名誉院長
 五 味 重 春
 埼玉県障害者リハビリセ
 ンター所長
 砂 原 茂 一
 国立療養所東京病院名誉院長
 津 山 直 一
 東京大学教授整形外科
 水 野 祥太郎
 川崎リハビリ学院長
 (五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上 田 敏
 東大リハビリ部
 荻 島 秀 男
 ペインリハビリテーシ
 ョンクリニック高島平
 整形外科
 大喜多 潤
 兵庫県リハビリセンター
 寺 山 久美子
 都心身障害者センター
 富 岡 昭 子
 信州大学医療技術短大
 奈 良 勲
 金沢大学医療技術短大
 福 屋 靖 子
 筑波大学
 松 村 秩
 都養育院リハビリ部

<編集同人>

安 達 克 己
 池 田 俊 雄
 伊 東 元 夫
 宇都宮 初 幸
 大 丸 幸 翼
 金 子 翼
 鎌 倉 矩 子
 紀 伊 克 昌
 木 村 信 子
 駒 沢 治 夫
 佐 藤 馨 明
 嶋 田 明 子
 鈴 木 昌 家
 関 昌 明
 高 橋 正 明
 中 屋 久 隆
 橋 元 隆
 藤 沢 しげ子
 矢 谷 令 子
 山 下 隆 昭

(担当 細田・西塚)